

【第三種郵便物認可】

日本経済新聞

10月5日
水曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社 電話(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 電話(06)6943-7111
名古屋支社 電話(052)243-3311
西部支社 電話(092)473-3300
札幌支社 電話(011)281-3211
電子版アドレス
<http://www.nikkei.com/>
購読のお申し込み
電話0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>

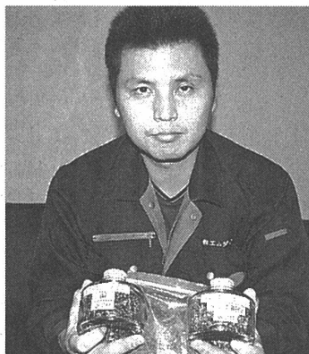
戦略

これで攻める

関東にある大手電線・でも震災で受注はいった光ケーブルメーカー関連の会社のリサイクルプラン。古い光ケーブルを金属屑と樹脂に分離・破碎する機械2台が11月に本格稼働を始める。リサイクル設備の設計・製造を手掛けるエムダイヤ(富山県滑川市、森弘吉社長)が納入した。

当初は約半年前の3月に稼働する予定だった。ところが直前で東日本大震災が発生。この大手の事業所とその周辺も地震と液状化による被害に見舞われ、延期に。よそ

エムダイヤ



モーターコイルもエムダイヤの機械で銅(右手)と鉄くずに分離回収できる(写真は森社長)

〈メモ〉2005年設立。森弘吉社長の父は技術者で、約30年前から油圧機械の修理を請け負う傍ら、取引先の要望で廃ワイヤをゴムとスチールワイヤに分けて破碎する装置を開発した。この装置の可能性を感じた弘吉氏が起業し、電線、自動車スクラップなどに需要

先を見いだし製造販売に乗り出した。産業廃棄物の分離・破碎機「エコセパレ」は日・米・中・韓で特許を取得。今春には富山県が創設した「ものづくり大賞」第1回特別賞を受賞した。10年12月期の売上高はグループ全体で5億8000万円。

廃棄物分離・破碎1台で

海外見本市に次々と参加した。「販路開拓助成

一般的だった。エコセパレは一台で分離・破碎を二気に行える。構造上、刃の消耗も抑え、せん断機に比べて補修費などの維持コストも大幅に削減できる。昨年11月、横浜市でのアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議に合わせ日本貿易振興機構が設置したブースに「エコセパレ」を出展。その後米シカゴ、ハリヨン、中国・西安と震災で流れは一変した

北陸



福金福 井沢山 000 077 766 612 332 211 334 436 913